

市税等の収納について

佐久間 儀郎



【質問】①収納率低迷は、経済状況や苦しい家計を反映していないか。②夜間収納総合窓口の充実化③納税貯蓄組合への取り組み④納期の細分化と納税者自身に納期回数を選択させることが可能かどうか⑤コンビニエンスストア収納方式を導入してはどうか。

【答弁】【市長】①納税者1人当たりの所得は249万2千円、平成16年度から10・33パーセント減収、景気悪化に伴って税収が減収傾向にある。今後、企業誘致を含め、市民生活の向上に向けた施策の取り組みを推進していきたい。

②夜間収納総合窓口は収納率の向上に貢献している。引き続き市民の利便性向上と収納機

会拡大に鋭意努力していきたい。③組合では滞納未然防止の呼びかけや税意識の普及に努めている、今後も支援をしていきたい。④条例により納期の変更ができるとしても、市民の選択制にできるかについては、対応は難しいのではないかと。⑤システム構築が高額となること、人為的ミス、手数料が高額となることが検討課題として挙げられる。

当市は口座振替の推進を図りながら収納率向上に向けた新しい納税の環境整備に向け、引き続き検討していきたい。

【広告掲載事業について】

【質問】本市は公有財産、物品、印刷物やホームページ等、市の保有する資産を広告媒体として活用するため広告掲載要綱を備えている。

バンナー広告の運用実績はあるが、さらに食欲に広告媒体を探し自主財源の確保と経費削減に市職員一丸となった姿勢を市民に示すべきかと思うが所見を伺う。

【答弁】自主財源の確保の一つの方法として、また職員の取り組み姿勢を市民に発信することとは有益とされている。いい施策だと理解する。何をどのように活用するのが大切な部分だと思うので、今後もどれが行政としてできるのか、庁内できつかりと検討していきたい。

交通死亡事故ゼロを続け安全安心な地域社会を築くために

四 竈 英 夫



【質問】本市は先頃、死亡事故ゼロ500日を達成し表彰を受けた。

今後この記録を伸ばし安全安心な地域社会を築くためにどのような対策を講じていくか。また交通安全協会の活動に予算の支援はできないか。

【答弁】【市長】交通死亡事故の根絶は最大の目標である。そのためには、安全運転を心がける社会の実現が大切である。

「人を思いやる心」「譲り合うことの大切さ」「命の尊さ」を幼い頃から教えることで、交通安全の精神が育まれるのではないかと。交通指導隊、交通安全母の会等の協力を得て幼児

や小中学生の安全指導を行っている。

交通安全協会の運営費も応分の補助を行っている。

【学校でのいじめ、家庭内の虐待問題について】

【質問】学校でのいじめ問題が相次いでいる。本市においてはこうした問題は発生していないと思われるが、実態の把握と未然防止にどのような配慮をしているのか。

また、家庭内暴力や虐待・育児放棄などに対する配慮と問題発生時の対応について伺いたい。

【答弁】【教育長】実態の把握は月1回の月例報告等により行っている。問題の防止対策については、教師が子どもに寄り添って行くという姿勢が大事だと思う。いじめは起り得るものだという前提で

捉えていくことが大事だと思っている。学校と家庭が連携を取ることが早期発見につながる。

また、虐待についても服装や頭髪の乱れ、身体のおざなど日常的に観察して早期発見に努め防止対策を取りたい。

【生徒の学力調査について】

【質問】文部科学省で小学6年と中学3年の学力調査を実施したが、その結果をどのように分析し、今後の教育に活かしていく考えか。

【答弁】【教育長】調査をした小学校2校、中学校3校中2校は県平均・全国平均を上回る好成績だった。分析は今後になる。また、本市独自で全ての6年生に学力定着テストを行い、その結果を教育課程検討委員会で分析し、各学校に戻して対策を立ててもらっている。学力の向上を図るには心を育て落ち着いた学習環境を整えて行くことが大切だと思っている。